

■ 教育講演会 パン・アキモト 代表取締役 秋元義彦 氏

「小さなパン屋の大きな挑戦！ ～『パンの缶詰』が世界を救う！救缶鳥プロジェクト！」

11月13日(火) 5・6校時に教育講演会を実施しました。講師はマスコミでも数多く取り上げられている「救缶鳥プロジェクト」を主宰されている秋元義彦さんです。

秋元さんが、阪神大震災での経験をもとに開発した「パンの缶詰」は、日本を始め世界各国で特許を取得しています。その後、秋元さんは、世界の飢餓問題に取り組み、2009年に「救缶鳥プロジェクト」を開始されました。現在では「非常食」と「飢餓問題」を同時に解決しながら「企業利益」と「社会貢献」の両方をうみ出すことが出来る画期的なビジネスモデルとして、他業種からも注目されています。

誰もが成し得なかった事を成し遂げられ、さらに社会貢献に情熱を注がれている秋元さんは大変魅力的で、生徒たちも皆、集中してお話を聞いていました。「自分とは何者か・・・」について、深く考えたようです。









■ 教育講演会を終えて(生徒の感想)

<3年 中島貴登くん>

パンを缶詰にして保存食にする発想、またそれが3年間品質を保ち続けるということに感動しました。「生きたくても生きられない」という生活環境の中にいるアフリカの子どもたちに、無償でそれらの缶を提供している秋元さんの行動力とその姿にとっても憧れました。しかも、ただ物を送るだけでなく、食べる人の立場に立ち、乾パンなどではなくて「常温でも美味しいと言えるもの」を食べさせたい」という言葉には、秋元さんの深い優しさが感じられました。自分も秋元さんのようなグローバルな人になれるように頑張りたいと思います。

<3年 圖師有咲さん>

今回の講演を聴いて、日本は平和だなと思いました。将来の夢を聞かれて、「大人になりたい」という子どもたちが多くいることを聞きましたが、すごく印象的で心に残りました。私にとって大人になるということは当たり前のことですが、食料もなく、今も戦争が続いている国の人々にとっては、大人になることは普通ではないのだと知りました。また、このことを知って行動に移せる秋元さんは、すごい方だと思いました。私も秋元さんのように苦しんでいる人たちに笑顔を届けられる人間になりたいと思います。そして、たくさんの子どもたちを大人にしたいです。これから、私も誰かのためになることには進んで取り組んで、世界が今より平和になることを心から願っています。

<2年 岩切紅依さん>

私はパンの缶詰を開発し、自分から様々な場所に出向いてパンの缶詰を配るなど、積極的に行動する秋元さんの姿を見て、すごいと思いました。私は先日の職場体験で、自分から積極的に行動することを目標にしていたのですが、あまり実行することができませんでした。今回の教育講演会を終えて、これからは秋元さんのように自分から積極的に行動できるように頑張ろうと思いました。何よりも、ビデオでの、パンを食べたときの子どもたちの笑顔は本当に嬉しそうでした。私たちも、何か小さな事でも良いのでまずは取り組むことで、一人でも多くの人に笑顔になって欲しいなと思いました。

<1年 太田原麻央くん>

僕は今日の教育講演会を受けて、色々なことを学びました。その中でも特に今日一番心に残ったのは、世界の1/8である約9億人の人たちが飢え苦しんでいるということです。そのことを初めて知りました。また、そのように苦しんでいる人たちのために、秋元さんはパンの缶詰を作り、飢えに苦しんでいる人々を助ける活動を続けているということも心に強く残りました。そのようにお忙しい中で、ボランティアだからと言いながら今日のような講演にも来てくださいました。僕も今日の講演で教えていただいたことを活用して、秋元さんのように世界で活躍できる人になりたいです。